

5-3 リージョナル・セッション

各地域における経験や教訓についての情報交換を行う場を提供するとの目的から、各地域ごとのミーティングと話し合うテーマが設定されたセッションが開催された。

5-3-1 アジアリージョナル・ミーティング

1) 開催日

1月20日(木)

2) 主催

ISDR アジアパートナーシップ (IAP)

アジア災害予防センター (ADPC)、アジア防災センター (ADRC)、国連開発計画・危機予防復興局 (UNDP/BCPR)、国連アジア太平洋経済社会委員会 (UN/ESCAP)、国連国際防災戦略 (UN/ISDR)、国連人道問題調整事務所 (UN/OCHA)

3) ミーティングの目的

ミーティングのテーマは、「国連防災世界会議の成果に組み入れるために、最近の地域の防災活動とその活動に期待される役割」である。

具体的な目的としては、

- ① 国連防災世界会議の行動計画をどのようにアジアの国・地域レベルで実行していくかを議論し、合意に至ること。
- ② その行動計画の実行を支援する地域機関が各国からどのように期待されているのかを議論すること。
- ③ 地域の政府間協力組織、地域機関、ISDR アジアパートナーシップが行動計画の実行をどのように促進していくかを議論すること。

が挙げられる。

4) 内容

① 序論

・ チュン・ラ・クォン 国連アジア太平洋経済社会委員会

② 「地域機関における地域協力と期待に関する優良事例」の発表

- ・ セイド・マフムド・ファタミ・アグダ (イラン・自然災害研究所)
- ・ クサフ・シャリホフ (タジキスタン・UNDP)
- ・ ポー・サミー (ASEAN 防災委員会)

- ・ ワン・チェンヤオ 中国・国立防災センター

③ 意見発表

- ・ アニル・K・シンハ（インド・元国立防災研究所所長）
- ・ 北本政行（アジア防災センター所長）
- ・ アロイシヤス・J・レゴ（アジア災害予防センター）
- ・ テリュエ・スカブダル（国連人道問題調整事務所）
- ・ プラビーン・パラデシ（国連開発計画）
- ・ ティ・リ・フー（国連アジア太平洋経済社会委員会）
- ・ ヘレナ・モリン・ヴァルデス（国連国際防災戦略）

④ 結び

- ・ チュン・ラ・クオン（国連アジア太平洋経済社会委員会）

5) ミーティングの成果

バムの地震、インド洋津波など最近の大きな被害を生じた災害が全世界で自然災害に対する防災計画の必要性を認識する契機となることを望んでいる。

多国間の防災協力活動がこういった活動計画を増加させ、最適な資源の活用につながることである。地域の防災に関する仕組みは、国連防災世界会議によって作られた行動計画を進展させること。このミーティングでは、早期警戒システム、地域の専門知識の評価のための仕組み、全てのレベルでの訓練計画、衛星映像のような最新の役立つ情報の活用に焦点を置くべきであると提言した。

5-3-2 リージョナル・セッション

1) 開催日

1月21日（金）

2) 主催

防災タスクフォース地域事業体（IATF/DR）

アフリカ連合（AU）、アジア災害予防センター（ADPC）、アジア防災センター（ADRC）、欧州評議会（CE）、欧州委員会共同研究センター（EC/JRC）、米州機構（OAS）／「自然災害軽減」米州委員会（IACNDR）、南太平洋応用地球科学委員会（SOPAC）

3) セッションの目的

セッションのテーマは、「地理的な近接－共通の脅威」である。

具体的な目的としては、行動を導く基本的な概念がリスクと共に生活するということを学ぶことであり、さらに、重要な取り組み方として災害によるリスクと4つの柱を持った社会経済的発展のプロセスを統合すべきであるという合意があった。その4つの柱とは、

- ① 防災を主流に置くこと。
- ② 住民参加を元に開発計画に防災の考え方を取り入れること
- ③ 組織の能力強化
- ④ 情報技術と知識管理を統合したものを含めた研究活動を支援すること

である。今回は、これらのことを議論した。

4) 内容

① 序論

- ・ スヴィット・ヨドマニ (アジア災害予防センター)

② パネル A : 防災に関する地域・準地域メカニズムについて

- ・ フォダイ・ボージャン (アフリカ連合) 「地域戦略：防災を持続可能な開発への包含」
- ・ キム・ハク・スー (国連アジア太平洋経済社会委員会) 「地域防災戦略：国連経済社会委員会の役割」
- ・ ダニエレ・スマジャ (欧州委員会) 「防災のための地域部門政策」
- ・ ジェレミー・コリモア (カリブ防災機関) 「地域早期警戒・準備システム：第2回早期警戒国際会議 (EWC-II) からの教訓」
- ・ ジャン・ル・ポンセレ (米州機構／「自然災害軽減」米州委員会) 「地域防災機関の役割と機能の分析：30年間の傾向」

③ 議論

④ パネル B : 国連防災世界会議の成果を実行するための地域機関の役割

- ・ 北本政行 (アジア防災センター) 「意識啓発：地域の安全文化を向上するための課題」
- ・ ラバン・オガロ (アフリカ地域気候情報センター) 「国境を越えた異常気象の脅威と情報交換」
- ・ ポー・サミー (ASEAN 防災委員会) 「災害対応と軽減：地域協力の推進」
- ・ ジェロニモ・ヂウスト (中央アメリカ自然災害予防協議センター) 「情報と経験交換のためのネットワーク化活動」
- ・ マーク・ケイム (疾病管理センター) 「保健分野に関連した防災の地域戦略」

⑤ 議論

⑥ 総括

- ・ スウィット・ヨドマニ（アジア災害予防センター）

5) セッションの成果

議論の結果、セッション参加者は、国と国際的な活動を結びつけ、安定した政治、政策、制度的な枠組みを作り出し、持続可能性を防災活動に組み入れることが最も効果的な方法であることを示すことにより、地域間協力の重要性を正しいものと指摘した。さらに、国・地方組織や活動が一緒になって、行動することによって、個々で行動した場合に、決して成し遂げることが出来ないほどの重みがあることを指摘した。